carview.co.jp

2012 年 9 月 20 日

News Release

株式会社カービュー

カービュー マーケットウォッチ（2012 年９月）

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：金子 昭一）は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

乗用車全体で11カ月連続プラスも伸び率は10%台に

12年 ８月順位	12年 ７月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(1)	→	プリウス	トヨタ	23,828
2	(2)	→	アクア	トヨタ	19,076
3	(3)	→	フィット	ホンダ	12,249
4	(7)	↑	セレナ	日産	9,872
5	(4)	↓	カローラ	トヨタ	6,861
6	(5)	↓	ヴィッツ	トヨタ	6,274
7	(6)	↓	フリード	ホンダ	5,633
8	(-)	↑	ポルテ	トヨタ	4,883
9	(-)	↑	スペイド	トヨタ	4,670
10	(8)	↓	ステップワゴン	ホンダ	4,300
11	(9)	↓	デミオ	マツダ	4,277
12	(19)	↑	CX-5	マツダ	3,576
13	(23)	↑	スイフト	スズキ	3,308
14	(12)	↓	エスティマ	トヨタ	3,235
15	(13)	↓	パッソ	トヨタ	3,209
16	(14)	↓	インプレッサ	スバル	3,142
17	(15)	↓	ヴォクシー	トヨタ	3,027
18	(11)	↓	ヴェルファイア	トヨタ	2,883
19	(18)	↓	ソリオ	スズキ	2,882
20	(10)	↓	マーチ	日産	2,692

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ
※ 輸入車および軽自動車を除く

カービュー編集部の独自分析

■乗用車全体で 11 カ月連続プラスも伸び率は 10%台に
軽乗用車は好調だが、3／5 ナンバー乗用車は 1 ケタの伸び

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した 8 月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽自動車を含め、国内で販売された乗用車総数は 31 万 5791 台で、前年同月比は 115.6%（貨物車、バスを含む新車総数は 37 万 777 台、前年同月比 112.4%）と 11 カ月連続で前年を上回った。

ただ、今年に入って常に 30%超だった伸び率が 15.6%と 10%台にとどまり、減速感が出始めたのが気になるところ。軽乗用車は前年同月比 30.9%増の 11 万 779 台だが、3 ナンバー普通乗用車が同 7.2%増の 9 万 8386 台､5 ナンバー小型乗用車は同 10.1%増の 10 万 6626 台で、3／5 ナンバー乗用車合計では 20 万 5012 台の 8.7%増とひとケタ台の伸びに終わった。東日本大震災前の 2010 年と比べると、2010 年の 7、8 月はエコカー補助金終了間際の駆け込み需要が発生していたとはいえ、3／5 ナンバー乗用車合計では 2 カ月連続で下回っており、今後の動向が注目される。

輸入車と軽乗用車を除く 3／5 ナンバーの国産乗用車（日産マーチの 2692 台、三菱ミラージュの 1392 台含む）は 18 万 8156 台、前年同月比は 108.5%。メーカーブランド合計ではトヨタ、マツダ、スバル、スズキは前年を上回ったものの、レクサス、日産、ホンダ、三菱、ダイハツは前年割れで、それもホンダと三菱を除き 2 ケタのマイナスだった。

月間ランキングでは 15 カ月連続トップの「トヨタ プリウス（α含む）」、2 位「トヨタ アクア」、3 位「ホンダ フィット（シャトル含む）」のトップ 3 は 5 カ月連続で動きはなかったが、4 位に 8 月にハイブリッド車（HV）を追加した「日産 セレナ」が 3 ランクアップ。発売後約 1 カ月でセレナ全体の月間販売目標 6300 台の 2 倍超の受注を集め、そのうち HV の S ハイブリッドが約 90%を占めている。日産は乗用車全体では前年割れだったが、セレナに加え、9 月に発売された「ノート」も受注が 1 万 2000 台に達しているだけに、9 月以降は勢いを取り戻しそうだ。

軽自動車は貨物車を含めた全体でも 13 万 8405 台／前年同月比 122.1%と 11 カ月連続のプラス。車名別では「ホンダ N BOX」が 1 万 7308 台で、5 カ月連続トップとなり、軽を含めたホンダの乗用車全体では 41.6%増と好調をキープしている。このほかダイハツも好調で、軽を含めればダイハツの乗用車全体も 16.4%増と前年を上回っている。

輸入乗用車は海外メーカー製のみでは 1 万 6265 台、前年同月比は 109.6%（日本メーカー製を含む輸入乗用車全体では 2 万 940 台、同 110.9%）で 4 カ月連続で前年を上回った。海外メーカーブランド別乗用車ランキングは VW（フォルクスワーゲン）が 3506 台／前年同月比 100.1%で 4 カ月連続トップ、2 位はメルセデス・ベンツで 3028 台／同 124.6%、3 位は 2593 台／同 104.1%の BMW（ミニを除く）だった。4～10 位のアウディ、ミニ、ボルボ、フィアット、プジョー、ジープ、フォードのうち、プジョーだけが前年同月比 79.0%と前年割れで、8 月も前年同月比 114%増と好調だったアルファロメオは 259 台で、13 位に後退した。

■ココも気になる！ その１
ポルテ／スペイドをはじめ、ニューモデルが好調なトヨタ

昨年、軽を含む乗用車販売で前年比 73.2%と国内メーカー中、最も落ち込んだトヨタが順調に回復している。8 月単月では 10 万 8521 台／前年同月比 22.5%増、1～8 月累計では 107 万 6361 台／前年同期比 75.8%と、まさに V 字回復といえる復調ぶりで、震災前の 10 年 8 月時点と比べても、軽乗用車のプラス分があるとはいえ 1～8 月累計は 2.5%増（軽を除いても 0.3%増）となっている。

世界市場でも同様で、今年上半期の世界新車販売は上半期としては過去最高となる 497 万台（ダイハツや日野を含むグループ全体）、前年同期比 33.7%増を達成。昨年年間トップだった GM（ゼネラルモータース）が 467 万台、同じく 2 位の VW（フォルクスワーゲン）グループが 445 万台だったことから、2 年ぶりの世界トップ奪還となった。

今年のトヨタは、国内では 2 月の「86」を皮切りに、5 月「カローラアクシオ／フィールダー」、7 月「ポルテ／スペイド」、8 月「オーリス」とニューモデルを積極投入。しかも、こうしたニューモデルが 8 月の軽を除く乗用車ランキングでカローラ（アクシオ、フィールダー、ルミオンの合計）が 6861 台（前年同月比 15.1%増）で 4 位、ポルテが 4883 台（同 320.6%増）で 8 位、スペイドは 4670 台（－）で 9 位、86 も 2430 台（－）で 23 位と、いずれもベスト 30 入りを果たしている（オーリスは新旧含め 1139 台だが、前年同月比は 92.1%増）。

特にポルテ／スペイドは、ともに月間販売目標 4000 台に対し、発売後約 1 カ月でポルテが約 1 万 1000 台、スペイドが約 1 万 3000 台という好調な受注となっているだけに、今後も大きな伸びが期待できそうだ。さらに売れ行き好調な「アルファード／ヴェルファイア」の一部改良や 12 月と噂される「クラウン」のモデルチェンジなど攻め手に欠かない状況だけに、トヨタの勢いはまだまだ加速するはずだ。

■ココも気になる！ その２
世界有力市場の売れ筋ブランドをチェック！

世界のクルマ市場は、昨年年間で 1851 万台が売れ、3 年連続で世界 No.1 市場となった中国を筆頭に、アメリカ 1280 万台、日本 421 万台、ブラジル 363 万台、インド 329 万台でベスト 5（ヨーロッパは主要 28 カ国合計で 1357 万台。そのうちドイツが 317 万台でトップ）に並んでいる。日本では昨年は大きく落ち込んだとはいえ、トヨタが 118 万台でダントツだが、中国やアメリカでは GM がトップの座をキープ。そこで昨年の年間販売データをもとに主要市場の売れ筋メーカーブランドをチェックしてみよう。

中国では総販売台数 1851 万台のうち、乗用車は 1447 万台だったが、そのなかでは GM が

255 万台、前年比 8.3%増とトップ。VW は 17.2%増と GM を上回る伸び率となり、225 万台。日本メーカーでは日産が 125 万台、21.9%増と大躍進を果たした。トヨタは 4%増の 88 万台、ホンダは 4.5%減の 62 万台だった。

アメリカでは GM が 13.2%増の 250 万台でトップ。以下、フォード 214 万台（11.0%増）、トヨタ 164 万台（6.7%減）、クライスラー137 万台（26.2%増）、ホンダ 115 万台（6.8%減）、日産 104 万台（14.7%増）と続き、VW は 44 万台（23.3%増）で 10 位となっている。

世界第 4 の市場に成長したブラジルではフィアットが 75 万台でトップ。2 位が VW の 70 万台、3 位が GM の 63 万台と続き、トヨタは 9.9 万台で 8 位、ホンダが 9.3 万台で 9 位、日産も 6.7 万台で 10 位につけた。

インドではスズキが 99.7 万台でダントツのトップ、2 位は韓国のヒュンダイで 37.3 万台、3 位が地元のタタモーターズで 35 万台。トヨタは 13.6 万台で 5 位、6 位は GM で 11 万台、以下、フォード 9.6 万台、VW7.8 万台、ホンダ 4.8 万台で続いている。ただブラジル同様、各メーカーが進出計画を公表しているだけに、こうした新興国市場も要注目だ。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社カービュー 総務部 広報チーム（ pr@carview.co.jp ）
tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180